

意見交換会（宇治市都市計画マスタープラン）議事録
対象：全地域

日時：2021/10/30 19：00～20：25

会場：生涯学習センター

参加者：8名

宇治市：久下部長、米田副部長、森田係長、大西主任、藤田主任

発言者	内容
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線について、奈良市や京都市が駅の誘致に力を入れている状況だが、間にある宇治市は市内に駅を誘致する考えはないのか。鉄道や道路が便利にならないとまちは発展しない。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線の誘致となると話が非常に大きくなるので、本市のマスタープランで検討する範疇ではなくなりますが、道路や鉄道交通に関しては、新名神高速道路の開通や既存の鉄道をまちづくりに活かすことに重点を置いて取り組むことを考えています。
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道整備は大変なので、地域の活性化には道路整備がまず大事である。来年には新名神高速道路も開通する。幹線道路の整備により、宇治市に産業が立地して、人が集まれるようにすることが大事である。特に宇治市は東西の道路に課題があるので重点的に整備してもらいたい。
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市は人口も減少し、空き屋も増えており、市政が先細りしていくのではないか。マスタープランを立てても計画を実行する予算が立てられるのか心配である。 ・宇治市は地権者に親切過ぎるので事業が先に進まない。道路改修においても、反対している地権者に時間をかけて説得に当たっているが、市政の現状を考えると、そこに時間をかけている場合ではないのではないかと思う。 ・まちに会議室をつくって欲しい。大阪にはあるが京都にはない。六地蔵のイトーヨーカドー跡地にも会議室をつくって欲しかった。 ・観光地は、駐車場がないので道路が渋滞する、店はいつも混んでいる、遊歩道と車道が分離されていない、道に雑草が生えていると言った問題が見受けられ、観光客はリピーターとして来ないのではないか。宇治市の職員も足で稼いでそのような情報を集めるべきではないか。 ・萬福寺の近くの商店街も店がなくなっている。 ・海外や他の地域に比べて、宇治市は住民がまちを守っていかうとし

	<p>ているように感じない。住民も観光地に花を植えたり、雑草を抜いたり等の取り組みをして、観光地を育てていって欲しい。</p>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進む中、今のままでは宇治市も衰退してしまうので、人々の雇用の場をつくることを大きな課題としてマスタープランを見直しています。 ・産業や人々の生活のためには、幹線道路がしっかりと整備されていることが重要です。道路整備の全てを一度に行うことはできないので、力を入れて取り組む路線を見極める必要があります。現段階では、東西道路の整備、新名神高速道路とのアクセス、中宇治地域の渋滞解消などを重点的に行う形で計画しています。 ・観光地の駐車場は、足の不自由な方などのために必要ですが、多くありすぎると車が集中し、渋滞の原因になるため、基本的に観光客の方には公共交通機関を移動手段として使ってもらいたいと考えており、幹線道路の整備とあわせて、観光地への交通手段を分散させることも、渋滞対策として検討しなければならないと考えています。
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの意見について、道路拡幅などの用地買収は人の土地に関わる問題なので、宇治市も強引には出来ないのではないかと。 ・宇治市も中宇治以外の観光資源を活かすことも考えているが上手くいっていないと聞く。しかし、中宇治地域も宇治橋通りの電柱が無くなったりと良くなっているため、黄檗地域の観光も改善されていくと思う。 ・六地藏は、人口の割に公的施設が少ないと思う。 ・厳しい財政の中、近鉄小倉駅の西側の土地を宇治市が買収したのは英断だった。用地買収は相手が同意しないと出来ないのも難しいと思う。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収は難しい問題で、地権者の方も生活が懸かっていますので、協力したくても移転先の条件が整わないと協力できないことから、どうしても時間はかかります。こちらでも丁寧に説明して対応する必要がありますので、ご理解願います。
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市の立地条件を見ると市の中心が南にあるが、この中心を今後どこに持って行くのか考える必要がある。中心を南の城陽の方に結び付けるか、北の京都に結び付けていくのか。 ・北側の槇島の京滋バイパス沿いでは、休耕農地が増えており、その土地がトラックの配送センターに変わってきている。このままでは、都市全体の構想が崩れてしまう。 ・まちづくりの課題となっている東西道路を整備するなら、まちの中心を北側に持っていく必要があるのではないかと。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今の市の中心は市域の南側の鉄道と山の間にあるが、山があると隣の地域との結びつきが難しい。交通などは山の間の谷の部分を通らなければならない。 ・宇治市の弱点は、鉄道駅が多く、駅周辺にまちが固まっていることである。まちを繋ぐコネクションがない。それを解消するには市の中心を南側から北側に持っていく必要がある。 ・マスタープランは 20 年間の計画だが、20 年あれば市役所も建替えの時期になるので、役所やまちの中心をどこに持って行くのか考えていかないと、20 年後が苦しくなるのではないか。文化センターなどの施設も宇治市の端にあり、イベントにも行きにくい。施設がつくられた当初は、山を開拓してまちを広げている時代だったので問題はなかったかもしれないが、今はそのような時代ではない。人口が減少して高齢化も進んでいるので、人々が行きやすい場所につくらないと人は集まらない。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・今の人口減少が避けられないのは事実で、このままではいずれ公共施設を維持できなくなってしまうので、維持していく方法について本市も検討を始めています。 ・鉄道駅が多いことはデメリットだけでなくメリットもあり、地域にサービス施設が無くても電車を利用して隣の駅の施設を共有することも出来るので、どのような在り方が良いのか検討しているところです。
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道交通だけでは鉄道のラインでしか動けない。しかし、北側の槇島などの位置に中心地があれば、道路交通で四方に動けるようになるし、バスの拠点にもなる。鉄道で人々を動かすのか、もっと移動の自由が利くバスなどでも動かしていくのかを考える必要がある。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通についても、公共交通体系基本計画を立てて検討しているところですが、今は公共交通に対する人々のニーズが変わり、バス交通が成り立たなくなってきました。 ・また、これまでは住宅から駅までの距離として、住宅からバス停までは 400m、鉄道駅までは 1km を基準としていましたが、人口の高齢化により、駅までの移動が不自由な方が増えてきており、駅までの移動のニーズも変化してきているので、それらも含めて、どのような手段が良いのか検討しています。
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> ・一番の問題は、ニーズはあるが需要がない場合である。たまに乗る公共交通も便利なのでニーズはある。しかし、それが日常的に利用されなければ意味がない。需要が生まれるまちづくりが重要である。昔は公共交通の需要があったが、今はその需要がなくなっているの

	<p>で、尚のこと需要を確保できるまちの配置にしていく必要がある。</p>
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・バス交通が成り立っている都市では、病院や役所、学校などをバスがループする形の路線になっており、それでバスの需要を生みだし、人々の生活を支えています。そのことから商業施設や病院などをうまく活用しながら、公共交通の需要をつくり、人々のニーズに応えていく必要があると感じます。 ・ただし、宇治市には既に多くの施設があるので、それらの施設について整理しながらの検討が必要だと考えています。また、鉄道駅が数多くあると、ある程度若い人は徒歩や自転車ですぐに駅に行けるので、そのこともバス交通の需要が伸びない原因になっていると思われ、便利である反面、悩ましい部分でもあります。
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人に市内を移動してもらうためには学校なども必要である。それを持ってくる場所となると、やはり宇治市の北側しかないと思う。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市は製造業の雇用が多いですが、施設を展開する土地がなく、操業環境が悪いため企業が市外に流出してしまうケースが多いです。そのため、人々が働く場所として、北側に産業立地検討エリアを設けることを発表しており、そこで公共交通の移動にも関係する雇用の需要を新たにつくることをマスタープランに記載しています。
参加者③	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の需要に関して言えば、観光施設などの中身も皆が継続して行きたいと思うものをつくらなければならない。宇治市には源氏物語ミュージアムや歴史博物館、植物公園などの施設がある。植物公園は内容は非常に良いが、出来た当初の印象が悪かったため、その時のイメージが強く、近所の人には行こうとしない。歴史博物館も良いと思うが、継続的に見たいと思わせるものが無い。源氏物語ミュージアムは内容が良くない。リピーターが来られるように中身を考えて欲しい。 ・移動に公共交通機関を利用してもらうという考えは今の時代にどうかと思う。それよりも駐車場を整備して渋滞を解消して欲しい。市役所の前の道路もいつも渋滞しており、六地藏から文化センターまで行くのも大変である。これでは、観光施設にもリピーターは来ない。 ・ルーマニアでは、まちに信号機が無いが、歩行者が横断歩道で手を上げれば車は必ず止まる。宇治市は信号機が沢山あるが、誰も渡っていない信号機が点滅しているところを見ると勿体なく感じる。日本も同じように交通ルールを徹底すれば信号機のいらぬ国になれると思うので、ソフト面でもお金がかからないような視点を持って取り組んで欲しい。
参加者④	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料館で仏像に関する資料を出されているが、実物は寺に行っても公開されておらず、見る事が出来ないため、それらの仏像など

	<p>を集めた企画展を開けば人が集まるのではないか。このように同じ観光資源でも工夫すれば様々なアイデアが出てくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市の観光の取り組みは、お茶と平等院に偏りすぎていて、他に何も無いように見えてしまう。 ・もっと組織の壁を取り払って融通性がある中で考えれば、色々なアイデアが出てくると思う。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市には、これから任天堂資料館もでき、萬福寺などもあり、中宇治地域以外にも色々な観光資産があるので、今回いただいた意見も参考にしながら、それらの資産を活かしていけるように取り組んでいきたいと考えています。